

たより



平成 29 年 11 月 17 日
伊勢市教育研究所
伊勢市桜木町 55-1 (旧さくらぎ保育所)

ICT 機器の活用で さらに「分かる授業」を！

伊勢市教育研究所では、各校での ICT 機器の活用を進めながら、「分かる授業づくり」をいかにして実践していくかを課題に、先生方の研修を支援しています。

今年度の夏季研修講座において、新学習指導要領の内容を踏まえ、ICT に関する研修を4講座実施しました。【裏面参照】



★ ICT 研修講座の土台にあるのは… ★

新学習指導要領（小・中学校）の総則では、「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成」について、下記のように明記しています。

各学校においては、(略) 言語能力、**情報活用能力（情報モラルを含む）**、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

また、新小学校学習指導要領では、各教科等の特質に応じて、下記の2つの活動を計画的に実施することとしています。

- 「児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる**情報手段の基本的な操作を習得する活動**」
- 「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な**論理的思考力を身に付けるための学習活動**」



小学校においては、「**プログラミング的思考**」などを育む「**プログラミング教育**」について、「子どもたちの生活や教科等との学習と関連付けつつ、発達の段階に応じて計画的に実施すること」とされました。これらを実践するためにも ICT 支援員の派遣も含めた ICT 環境の整備は欠かせません。その重要性について、今回初めて新学習指導要領の（小・中学校）総則に明記されました。



情報手段を活用した学習活動を充実するためには、国において示す整備指針等を踏まえつつ、校内の ICT 環境の整備に努め、児童（生徒）も教師もいつでも使えるようにしておくことが重要である。すなわち、学習者用コンピュータのみならず、例えば大型提示装置を各普通教室と特別教室に常設する、安定的に稼動するネットワーク環境を確保するなど、学校と設置者とが連携して、情報機器を適切に活用した学習活動の充実に向けた整備を進めるとともに、～（略）



夏のICT研修講座

① ICT 環境整備講座

8月4日
実施

作ったその日から使える！ 書画カメラ・プロジェクター台の製作

毎年度大好評の東浦道範先生（伊勢宮川中学校校長）の研修講座。今年度は伊勢宮川中学校新校舎を会場に実施しました。製作の手順について丁寧な説明を受けた後、様々な工具を駆使して、立派な作品（台）を完成させました。オリジナルの台を使って、夏休み明けから早速、ICT 機器をフルに活用した授業実践が始まっています！



8月4日
実施

② ICT スキルアップ講座

授業で役立つ Windows タブレットの活用

宮山小学校を会場に、情報教育研究会研究員の皆さんを講師に実施しました。講座内容は、①「タブレットのいろは」、②「デジタルノートの使い方」、③「デジタルもぞう紙で新聞作り」の3部構成。充実の3時間でした。タブレットを使っているときの受講者の皆さんはとても楽しそうでした。授業のなかで「できそうなこと」「やってみたいこと」をイメージしながらの取組でした。



③ 特別研修講座 I・II

教職員プログラミング教育講座

8月24日
実施

鳥羽商船高等専門学校を会場に、今年度初めて実施した研修講座です。講師は鳥羽商専の教員の皆さんにお願いし、学生の皆さんにもアシスタントを務めていただきました。

プログラミングの基礎について学んだ後、①LEGO マインドストーム、②IchigoJam、③PowerPoint を使ったアドベンチャーゲーム作りの3つの実習から2つ選択して取り組みました。受講者の皆さんが懸命に試行錯誤する姿が印象的な研修講座となりました。

